新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

税金で繋がれたバトンを未来へ

阿賀野市立 京ヶ瀬中学校　３年　江　花　凛　香　さん

私は八月五日、六日に広島派遣事業に参加してきました。そこで気付いた、派遣事業と税金の繋がりを紹介します。

私は事業に参加し、いろいろな事を学んできました。特に心に残っているのは、広島平和記念資料館です。まるで被災時にタイムスリップしたような気持ちになり、辛さや苦しみがとても伝わってきました。教科書で見るだけでは分からなかったことをたくさん感じられました。その中で私は、「このような事業や平和について学べる場所は、どのようにして支えられているのだろう。」と疑問に思うようになりました。インターネットで調べた所、私たちがいつも納めている税金によって成り立っていることを知りました。私は税金を身の回りの道具や設備などに使うことしか知らなかったので、こんな使い方があるのかと驚きました。

税金は、今の私たちの生活を支えるだけでなく、過去の出来事を記録し、未来に繋げていく役割も果たしています。もし税金が無ければ、原爆ドームや資料館も存在せず、平和への考えをこんなに発信することはできなかったと思います。そして、広島に訪れる機会がなければ、私自身も平和について深く考えることができなかったと思います。今回の広島派遣では、平和への考えだけでなく、税金についても考える貴重なきっかけになりました。税金は納めて終わりなのではなく、さまざまな形で私たちの生活や未来に繋がっています。自分が普段何気なく利用しているものや、当たり前だと思っている環境にも税金が関わっているのかもしれないと考えるようになりました。

これから私は、税金を「大人が払うもの」と自分に関係ないように考えるのをやめて、自分たちの暮らしや未来を支えている大切なものだと考えていきたいです。税金に感謝をしてこれからも過ごしていきたいです。そして、税金から私に繋がれた平和のバトンを、次は私が未来に繋いでいきたいです。